

## 成果指標設定調書(事前要望)

## 【成果指標の設定】

成果指標設定年度 令和2 年度

市町村名	鶴ヶ島市			
提案事業名	“太田ヶ谷緑地”水と緑の保全事業			
事業期間	令和2 年度	～	令和2 年度	
事業の必要性、目的	埼玉県農業大学校跡地（鶴ヶ島市大字太田ヶ谷地内）は、圏央鶴ヶ島IC南側という恵まれた立地にありながら武蔵野の原風景とも言える魅力ある空間が残され、数多くの貴重な生物が生息している。都市化が進む市内に残されたこの貴重な樹林地に、自然を体感できるフィールドを整備し、市外からの流入人口の拡大を図るとともに、市内住民の郷土愛を醸成する。			
成果指標	（成果を検証する指標） 太田ヶ谷緑地内で開催される事業（イベント等）数			
	（成果検証の具体的な方法） 事業を開催する際に提出する公園使用許可申請書等により掌握する			
	（上記の指標を設定した理由） 緑地の自然を体感できる機会のバロメーターと捉えることができると考えられるため			
	（成果の目標値）			
	現状値 (31年3月現在)	0	目標値 (4年3月時点)	8
	（施設建設等の場合）			
年間利用者数(目標)(人)	—	稼働率(目標)(%)	—	
住民への公表方法及び特記事項	市ホームページにおいて公表する。			

## 【成果指標と構成事業の関連性】

令和2年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① 太田ヶ谷緑地 保全事業	ハード 散策路、遊水池、ピオトープ池、貴重な緑地の保全ゾーンの周遊や地域の魅力発信のための案内看板、利用者が使用するためのトイレや休憩用のベンチを設置することで、ふるさと鶴ヶ島を実感してもらい、市外からの流入人口の拡大を図るとともに、市内住民の郷土愛を醸成する。	49,500
②	ハード ソフト 間接補	
③	ハード ソフト 間接補	
④	ハード ソフト 間接補	
⑤	ハード ソフト 間接補	
合計		49,500

## 【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	案内看板等の整備のほか、市ホームページにより当地に残された貴重な緑地の保全ゾーンなどについて効果的なPRを行う。また、地域団体が主体となって各種イベントを実施し、ふるさと鶴ヶ島の魅力を発信し、リピーター（ファン）を増やす。
成果指標の達成見込み	地域団体と行政が一体となって本事業を推進し、全事業を総体的に組み合わせることにより、十分な成果を得られると判断した。